



Mercedes-Benz

メルセデス AMG の新しいモデルシリーズ

Press Information

2018年9月6日

メルセデス AMG E 53 4MATIC+(セダン/ステーションワゴン/クーペ/カブリオレ)およびメルセデス AMG CLS 53 4MATIC+を発表

- ・ 直列6気筒エンジン、ISG(インテグレートッド・スターター・ジェネレーター)と電動スーパーチャージャーを搭載
- ・ 可変トルク配分を行う、パフォーマンス志向の四輪駆動システム「AMG 4MATIC+」を搭載
- ・ ダイナミックなエクステリアデザインを採用

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、「メルセデス AMG53シリーズ」を発表し、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて本日より注文受付を開始します。なお、お客様への納車は9月以降を予定しております。(Eクラスセダン及びステーションワゴンは9月、CLSは10月、Eクラスクーペ及びカブリオレは11月を予定。)

「メルセデスAMG 53シリーズ」は、直列6気筒エンジン、ISG(インテグレートッド・スターター・ジェネレーター)、48V電気システムおよび電動スーパーチャージャーを組み合わせ、さらに可変トルク配分を行う、パフォーマンス志向の四輪駆動システム「AMG 4MATIC+」を採用するなど走行性能を追求する一方、快適性能も維持し、トータルバランスに優れたモデルです。加速時にはモーターによる駆動アシストや電動スーパーチャージャーによる過給を行ったり、変速を素早く行うためにモーターを制御するなど、電気システムをハイパフォーマンスモデルの更なるパフォーマンスの向上に積極的に利用する、新しいコンセプトのシリーズです。直列6気筒とこれらの新システムの組み合わせにより、大排気量の自然吸気エンジンのような、スムーズでリニアな加速感や高回転域までの伸びやかな回転フィールを楽しむことができます。

ISGと48V電気システム

「ISG」はエンジンとトランスミッションの間に配置された、最高出力16kW、最大トルク250Nmを発生する電気モーターで、オルタネーターとスターターの機能も兼ねています。この電気モーターと「48V電気システム」により、従来のハイブリッド車のような回生ブレーキによる発電を行い、約1kWhの容量のリチウムイオンバッテリーに充電します。エンジンが低回転時には、その電力を利用して動力補助を行うことで、高い効率性と、力強い加速を実現します。48Vまで高められた電気システムにより、動力補助に十分な出力を得ることができる一方、60Vを下回る電圧としたことで、専用の乗員保護機構は不要となります。スターターが従来より高出力な電気モーターとなることで、エンジン始動時の振動を抑え、エンジンスタートおよびアイドリングストップの際の再スタートの快適性を向上しました。また、アイドリング時には、電気モーターの充電電流を調整することで、エンジン回転数

を低回転で安定的に保つことを可能にし、効率性、快適性および静粛性に寄与します。さらに、このモーターはシフトチェンジ時にも使用され、エンジンが理想的回転数に達するまでの時間を最小限に抑えるためのアシストも行います。これにより、シフトチェンジに必要な時間が短縮され、スムーズでタイムラグの少ないシフトチェンジを実現します。 Page 2

新型直列6気筒エンジン M256

今回の「メルセデス AMG 53 シリーズ」に搭載される新型「M256」エンジンは、電化を前提にして設計された初めてのパワーユニットで、S 450 に搭載されるエンジンに大型のターボを組み合わせることで、単体で最高出力 435PS (320kW)、最大トルク 520Nm を発生します (S 450 比 最高出力+68PS (50kW)、最大トルク+20Nm)。直列エンジンの採用によりエンジン左右のスペースに補器類を配置することが可能になったことに加え、従来はエンジン回転を動力源としていたエアコンディショナー、ウォーターポンプなども電動化されたため、エンジン前部のベルト駆動装置が不要となり、よりコンパクトなエンジンになりました。また、エンジン近接型の触媒を採用し、より効率的な排出ガス処理を可能にしています。さらに、12mm オフセットされたエンジンや、シリンダーウォールにスチールカーボン材を溶射コーティングする NANOSLIDE®摩擦低減加工を施すことで、フリクションロスを低減しています。

電動スーパーチャージャー

排気によるターボチャージャーが効果を出しづらい、低回転域で過給を行う「電動スーパーチャージャー」を搭載することにより、ターボラグを解消します。「電動スーパーチャージャー」と「ISG」による動力補助および排気ターボチャージャーとの組み合わせで、あらゆる回転域で俊敏なエンジンレスポンスを実現しています。

四輪駆動システム「AMG 4MATIC+」

高性能エンジンのパワーを四輪に最適配分するメルセデスAMGが開発した新しい四輪駆動システム「AMG 4MATIC+」を搭載しています。前後トルク配分が50(前):50(後)から0(前):100(後)の範囲で可変トルク配分を行うことで、ハイパワーを四輪へ最適に配分します。発進時はもちろん高速走行、ハイスピードコーナリング、そしてコーナーの立ち上がり加速などにおいて絶対的な安定性を誇り、思いのままのドライビングを楽しむことができます。

AMG RIDE CONTROL+サスペンション

「AMG RIDE CONTROL+」は、高いアジリティやニュートラルなコーナリング特性、優れたトラクションを可能にするシステムです。特にスポーティなスプリング/ダンパー設定と連続可変ダンパーの「ADS+(アダプティブダンピング システム)」を採用したマルチチャンバー型エアサスペンションであり、卓越したドライビングダイナミクスと優れた快適性を同時に実現します。コーナリング時やブレーキング時などには、スプリングレートを高めることでロールを効果的に抑制します。また、各輪の減衰力をその時点の走行状況および路面状態に合わせて自動で調整します。この調整を速やかに正確に行うため、ダンパー内に伸び側用と縮み側用のバルブを1個ずつ設けています。あらかじめ選択できるダンピング特性

には「コンフォート」、「スポーツ」、「スポーツプラス」の 3 モードがあり、長距離走行向けの優れた快適性からスポーティなドライビングダイナミクスに至るまで、はっきりと体感できるほど異なる設定となっています。さらに、ボタンを押すことで車高を上げることができ、駐車場のスロープなどでも気を遣わずに運転することが可能になっています。

エクステリアデザイン

フロントのデザインはモデルにより異なります。フロントグリルには E クラスセダンおよびステーションワゴンにはダイヤモンドグリル、E クラスクーペおよびカブリオレと CLS には、さらにスポーティなシルバークロームのツインブレードフロントグリルが採用されています。フロントスポイラーにはシルバークロームのフロントスプリッターを備えています。左右エアインテーク部にはシルバークロームの水平フィンが 2 本ずつあしらわれ、その外側にブラックのフリックが採用されています。CLS では、さらにサイドエアカーテンが装備され、Cd 値の低減に貢献しています。また、ボンネットフードにはパワードームがあしらわれ、スポーティな印象を与えます。

サイドビューで目を引く、20 インチのハイグロスブラックとシルバーのツートーン 5 ツインスポークアルミホイールは、引き締まった、スタイリッシュな印象を与えます。^{*1} また、AMG 専用のサイドスカートはダイナミックなシルエットを与える、大型のものになっています。

^{*1}: EクラスとCLSでホイールデザインは異なります。

リアには、ボディ同色のトランクリッドスポイラーリップ^{*2}が装着され、専用デザインの大型リアディフューザーとクローム仕上げで円形のデュアルエグゾーストエンドにより、スポーティでダイナミックなデザインとなっています。

^{*2}: Eクラスステーションワゴンには装着されません。

インテリアデザイン

「53 シリーズ」にはメルセデス AMG 最新世代で、E クラス、S クラスの 63 シリーズにも採用されている「AMG パフォーマンスステアリングホイール」が採用されます。上質かつスポーティなデザインとなっているほか、ステアリングから手を放さずに、ナビゲーションの操作や車両の設定などが行える、「タッチコントロールボタン」や、「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック(自動再発進機能付)」を操作するスイッチも備えており、操作性の向上にも寄与します。

2 つの高精細 12.3 インチワイドディスプレイを一枚のガラスカバーで融合したコックピットディスプレイは、空中に浮かんでいるように見え、インテリアデザインの水平方向の流れを強調する中心要素となっています。インストゥルメントクラスターとなるこのコックピットディスプレイは、ドライバーの視野に直接入るべきさまざまな情報を表示する大型ディスプレイと、センターコンソール上方にセンターディスプレイを備えています。なお、コックピットディスプレイのデザインは、「クラシック」、「スポーツ」、「プログレッシブ」の 3 種類の中からお好みで設定することができます。またインストゥルメントクラスターに表示することができる AMG メニューでは、エンジンオイル温度、トランスミッションオイル温度、前後及び横方向の加速度、エンジンの出力およびトルク、過給圧、タイヤ温度および空気圧、車両設定状況などを表示することができます。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
メルセデス AMG E 53 4MATIC+ (ISG ^{*3} 搭載モデル)	左/右	3.0L、L6 直噴 ターボ	¥ 12,020,000 (¥ 11,129,630)
メルセデス AMG E 53 4MATIC+ ステーションワゴン (ISG ^{*3} 搭載モデル)	右		¥ 12,390,000 (¥ 11,472,223)
メルセデス AMG E 53 4MATIC+ クーペ (ISG ^{*3} 搭載モデル)	左/右		¥ 12,130,000 (¥ 11,231,482)
メルセデス AMG E 53 4MATIC+ カブリオレ (ISG ^{*3} 搭載モデル)	右		¥ 12,680,000 (¥ 11,740,741)
メルセデス AMG CLS 53 4MATIC+ (ISG ^{*3} 搭載モデル)	左/右		¥ 12,740,000 (¥ 11,796,297)

*3:ISG は Integrated Starter Generator の略称です。

*4:上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。販売店が価格は独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、「メルセデスAMG 53シリーズ」には、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

また、メルセデス・ケア期間中には、ご希望のモデルを3回無料でご利用いただける週末貸出サービス「シェアカー・プラス」もご利用頂くことが可能です。

さらに、メルセデス・ケア終了後、有償の保証延長プログラムとして、一般保証および24時間ツーリングサポートを2年間延長する「保証プラス」と、4、5年目のメンテナンスサービスにおいて、初回車検時および4年目の点検や定期交換部品、消耗品の交換をパッケージでご提供する「メンテナンス プラス^{*5}」をご用意しています。

*5: 新車登録日から59ヶ月後の応当日の前日、または総走行距離75,000km到達時のいずれか早い時点で終了となります。



メルセデス AMG E 53 4MATIC+



メルセデス AMG CLS 53 4MATIC+

「インテリジェントドライブ」

飛躍的に進化した「レーダーセーフティパッケージ」

高度化されたステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーの働きにより周囲の交通状況をよりの確に把握することができるようになり、機能が大きく強化されました。

・アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（自動再発進機能付）

・アクティブステアリングアシスト

「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（自動再発進機能付）」は、ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーにより、高速道路などの走行時に先行車を認識して、速度に応じて車間距離を調節します。減速が必要な場合、アクセルおよびブレーキを自動調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自車も停止します。また、新たに停止している先行車の検知も可能となりました。先行車および停止中の車両との距離が突然縮まった場合には、警告灯と警告音でドライバーに知らせます。

自動再発進機能も備わり、高速道路での渋滞時に自動停止した際、30秒以内に先行車が発進した場合は、ドライバーがアクセルを踏まなくても自動で再発進します（一般道では3秒以内）。30秒以上停止していた場合は、アクセルを軽く踏む、またはステアリング上のスイッチを使用して再発進が可能です。

「アクティブステアリングアシスト」は、車線のカーブと先行車を、車線が不明瞭な道ではガードレールなどを認識し、車間を維持しながらステアリング操作をアシスト^{*7}します。

*6: アクティブディスタンス・ディストロニック(自動再発進機能付)作動速度範囲:0~約210km/h
設定可能速度範囲:約20~210km/h

*7: 車線が不明瞭な場合のアクティブステアリングアシスト作動範囲:0~約130km/h

・渋滞時緊急ブレーキ機能

ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーで、先行車およびその左右の車線を監視します。突然渋滞の最後尾が現れた場合などに、前走車との衝突の危険を検知します。その左右などに回避スペースが無いと判断すると、即座に自動ブレーキが作動し、衝突回避または被害軽減を図ります。回避スペースがある場合は、ドライバーの回避操作を優先します。ただし、ドライバーが反応しない、または回避操作が遅れて衝突が回避できないと判断した場合には、即座に自動ブレーキが作動します。さらに、渋滞末尾で回避操作を行う空間的余裕がない危険な状況を検知して、通常よりはるかに早い段階でブレーキを自動で作動させる機能も搭載しました。

・アクティブレーンチェンジングアシスト

高速道路を走行時にアクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーがウインカーを点滅させると3秒後に車両周囲を監視しているセンサーが他の車両などとの衝突の危険が無いことを確認し、安全が確認された場合に自動で車線を変更します。また、ドライバーがウインカーを作動させたときに周囲の状況により車線変更ができない場合でも、10秒以内であれば、システムが車線変更できるかどうか確認し続け、自動で車線変更を行います。その際、作動状況をマルチファンクションディスプレイに表示します。

*8: 作動速度範囲:約80km/h~180km/h（一般道での利用不可）

・アクティブエマージェンシーストップアシスト

アクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーが一定時間ステアリング操作を行わない場合、警告灯と警告音によってステアリングを握るよう促し、それでもドライバーがステアリング、アクセル/ブレーキ、タッチコントロールボタンの操作の反応が無い場合は、さらに警告音を鳴らしながら、緩やかに減速して停止します。また、車両停止後は自動的にパーキングブレーキがかかることで、後方からの衝突による二次災害を防止します。

・アクティブブレーキアシスト(歩行者/飛び出し検知機能付)

先行車、前を横切る車両や合流してくる車両、歩行者、路上の物体などとの衝突の危険性を感知すると、ディスプレイ表示や音でドライバーに警告します。必要な場合はシステムが衝突を回避するために強力な制動力を発揮できるようブレーキ圧を高めます。同時に、前席のシートベルトの巻き上げや助手席のシートポジション修正など、衝突時に乗員の最適な姿勢を可能な限り確保する PRE-SAFE®機能も作動します。ドライバーが反応しない場合、システムが衝突を避けられないと判断して、最大のブレーキ力で自動緊急ブレーキが作動します。衝突の回避もしくは被害軽減を効果的にサポートします。なお、交差点での車両飛び出しにも対応します。

*9: 作動速度範囲: 約 7~250km/h

*10: 歩行者検知機能 作動減速範囲: 約 7~70km/h

*11: 作動速度範囲は、気象条件や道路状況等により変動することがあります。

・緊急回避補助システム

車両前方にいる車道横断中の歩行者などとの衝突の危険を検知すると、システムが正確なステアリングトルクを計算して、ドライバーのステアリング操作をアシストします。また、回避後の車線復帰も同様にサポートします。

*12: 作動速度範囲: 約 20~70km/h

・トラフィックサインアシスト

一般道や高速道路を走行中、カメラが制限速度などの標識を読み取り、ディスプレイに表示し、制限速度を超えた際には警告音を出してドライバーに注意を促す機能も搭載します。

・アクティブレーンキーピングアシスト

フロントウインドウのステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合は自動補正ブレーキによって車両を車線内に戻そうとします。なお、破線の車線走行時には隣車線の車両もしくは対向車と衝突の危険がある場合のみ作動します。

*13: 作動速度範囲: 約 60km/h~200km/h

・アクティブブラインドスポットアシスト

リアバンパー左右のレーダーセンサーにより、車両の斜め後ろのミラーで見えない死角エリアに車両や自転車がいてることを警告します。さらに、30km/h以上で走行の際に側面衝突の危険がある時にはブレーキを自動制御して、危険回避をサポートします。追い越し車線に移ろうとして斜め後ろにいる車両に気づかなかった時など、ドライバーの不注意によるミスを予防し、安全な走行を支援します。

*14: 作動速度範囲: 約 8~200km/h

*15: 自動コース修正作動減速範囲: 約 30~200km/h

・PRE-SAFE®プラス(被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム)

Page 7

リアバンパーに設置されたレーダーセンサーが後方のクルマを監視して車間距離と接近速度から衝突の危険があると判断すると、ハザードランプを素早く点滅させて後続車のドライバーに警告するとともに、インジケーターによりドライバーに警告します。自車が停止中で後続車が十分に減速しない場合は、後方からの衝突に備えてブレーキ圧を高めます。これにより玉突き衝突の回避など二次被害の軽減をサポートします。さらにシートベルトテンショナーも作動させ、衝撃の影響の低減を図ります。

・PRE-SAFE®サウンド

システムが不可避の衝突を検知すると、車両のスピーカーから鼓膜の振動を抑制する音を発生させ、鼓膜の振動を内耳に伝えるあぶみ骨筋の反射収縮反応を引き起こします。この収縮によって衝撃音の内耳への伝達を軽減します。

ドライバーを支援するその他のシステム

・ドライブアウェイアシスト

車両前方もしくは後方 1m 以内に障害物があり、その方向に進むギアを選択した場合、アクセルを強く踏んでも時速 2km/h 以上の速度が出ず、警告音によりドライバーに誤操作の可能性があることを警告します。

*16: 停止した際に、一旦 P にシフトした後、D か R に入れる必要があります。通常走行中に停止し、P にシフトせずに再発進をする場合は、本機能は作動しません。

*17: 時速 2km/h で走行し、警告にも関わらずドライバーがブレーキを踏まない場合は障害物に衝突します。

*18: 停止した際に障害物から 1m 以上離れている場合、本機能は作動しません。

・アクティブパーキングアシスト

約 35km/h 以下で走行中、超音波センサーが左右の最適な駐車スペースを自動で検出し、縦列駐車、並列駐車スペースへの出入りの際にドライバーをサポートします。自動操舵・ブレーキ・シフトチェンジ・速度コントロール機能により、自動で駐車します。複数の駐車スペースを選択することもできます。ブラインドスポットアシストとの組み合わせで働く「リアクロストラフィックアラート」は、並列駐車スペースからバックで出る際に、後ろを横切るクルマを検知してドライバーに注意を促すとともに、必要に応じて自動でブレーキを作動させます。

・マルチビーム LED(ウルトラハイビーム付)

ステレオマルチパスカメラと 4 つのコントロールユニットにより、理想的な配光パターンを毎秒 100 回の頻度で解析することで、片側 84 個の LED を高精度に正確に配光します。道路標識の反射が起こらないように前方を照射することや雨天時に路面からの反射を抑えドライバーに見やすい視界を提供することも可能です。さらに、対向車の眩惑防止はもちろんのこと、カーブを検知すると前もって配光パターンを制御し、カーブの先を早めに照らすことで安全性を高めます。さらに、CLS には新たにハイビームを補う「ウルトラハイビーム」が備わり、40km/h 以上の速度で走行している際、約 650m 以上の距離にわたって 1 ルクスを上回る明るさで照射し視認性を高め、安全性に寄与します。

自動車が通信することによりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「24時間緊急通報サービス」などを最長10年間無償でご提供する「安心安全サービス」、「リモートパーキングアシスト」などを3年間無償でご提供する「快適サービス」、メルセデス・ベンツ 24時間コンシェルジュサービスを1年間無償でご提供する「おもてなしサービス」の3つのサービスカテゴリーから構成されます。

「安心安全サービス」

- 24時間緊急通報サービス: 事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが消防に連絡します。
- 24時間故障通報サービス: ツーリングサポートが必要な際に、Bコールボタンを押下するとツーリングサポートセンターにつながります。

「快適サービス」

- リモートドアロック&アンロック: スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。
- リモート(車両)ステータス確認: 車両の走行距離、燃料計、平均燃費等の状態をアプリ等で確認できます。
- MB Apps: 天気情報やインターネットラジオをMB Appsで表示、使用できます。
- 駐車位置検索: 駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- Send2Car: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。

「おもてなしサービス」

- メルセデス・ベンツ 24時間コンシェルジュサービス: 車内から専用ボタンを押すだけで専門のオペレーターが24時間365日対応します。
 - ✓ 車載された通信モジュールを利用し、ナビゲーションの目的地を設定
 - ✓ レストランやホテル等の検索・予約^{*19}
 - ✓ メルセデス・ベンツ正規販売店の検索・ご案内
 - ✓ 緊急時の病院の案内 など

^{*19}: 施設により本予約と仮予約のいずれかのご提供となります